



## 2023年3月期（第25期）決算の概要等について

株式会社札幌ドーム（以下当社）は、本日開催の定時株主総会、その後の臨時取締役会および臨時監査役会におきまして、以下のとおり2023年3月期（第25期）の決算を報告するとともに、取締役10名および監査役1名が選任され、就任いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 2023年3月期（第25期）決算概要

※百万円未満および千人未満切り捨て

○売上高	29億76百万円	（前期比6.6%減）
○経常利益	1億93百万円	（前期比50.3%減）
○当期純利益	1億20百万円	（前期比46.3%減）
○総イベント開催日数	124日	（前期比9日増）
○総利用日数（設営撤去等を含む）	220日	（前期比33日減）
○稼働率	60.3%	（前期比9.0ポイント減）
○イベント来場者数	168万1千人	（前期比121.6%増）
○観光来場者・一般市民利用者ほか	8万6千人	（前期比75.9%増）
○総来場者数	176万7千人	（前期比118.9%増）

・イベント来場者数は前期を大きく上回り、商業及び駐車場事業では増収となりました。一方、前期では東京2020オリンピック競技大会（サッカー）の長期利用があったことから稼働率は前期比9.0ポイント減となり、貸館事業は減収となったほか、チケット事業では取扱案件の減少、広告事業では広告枠の販売減少などによりいずれも減収となり、売上高は29億76百万円、当期純利益は1億20百万円の減収減益となりましたが、二期連続の黒字となりました。

・新規自主・共催イベントとして「大ほっかいどう祭」を開催するなど、総イベント開催日数は前期比9日増の124日となりました。

・開業以来実施してきた改良工事等については、主催者サービスとして「アリーナ分割用パーティション購入」、「スコアボード簡易操作システム構築」、施設設備更新として「ハンドロータリー除雪機更新」など、総額42百万円の工事等を実施し、その成果物を札幌市に寄付しました。

・業務基幹システム更新や、業務用サーバ関連機器、業務用パソコン、業務用複合機の更新などで、総額55百万円の設備投資を行いました。

・剰余金の処分について

期末配当金として、1株につき1,000円、総額20百万円の配当を実施します(前期と同額)。

### 2. 役員一覧

代表取締役社長	山 川 広 行	
取締役副社長	石 川 敏 也	札幌市 副市長
専務取締役	吉 田 圭 吾	当社事業本部長
常務取締役	藤 部 安 典	(新任)
取 締 役	紫 藤 正 行	札幌商工会議所 副会頭
同	鍋 島 芳 弘	北海道電力(株)常務執行役員
同	八 木 涉	北海道瓦斯(株)常務執行役員
同	堀 井 友 二	(新任) (株)北海道新聞社 執行役員企画室長
同	森 本 光 俊	サッポロビール(株)上席執行役員北海道本社代表 兼北海道本部長
同	沖 津 充 男	(株)電通北海道 代表取締役社長執行役員
常 勤 監 査 役	池 田 浩 之	(新任) 札幌商工会議所 再生・引継事業 事業統轄
監 査 役	草 薨 金 矢	草薨金矢税理士事務所 所長
同	石 田 裕 一	(株)北洋銀行 執行役員公務金融部長

### 3. 当社による施設改修の取り組みについて

当社の収入および利益は、公共の施設である札幌ドームの維持管理やお客さまの利便性、サービスの向上、選手のプレー環境整備のための施設改修などを通して、市民の皆さまや主催者さまに還元させていただいております。お客さまや主催者さまからのさまざまなご意見やご要望に基づき、より快適に札幌ドームをご利用いただくため、施設所有者である札幌市と協議のうえ、施設設備の改良工事等を実施してきており、これまでの総額は61億円超となっております（一覧表参照）。

年度	主な工事	合計金額
2001年度	サイン関連工事	1億62百万円
2002年度	スタンド席手すり設置	2億81百万円
2003年度	バックネット取り換え	1億41百万円
2004年度	野球用人工芝更新 ※1回目 移動式チケット売り場設置	4億63百万円
2005年度	コミュニケーションスペース設置	1億49百万円
2006年度	大型複合遊具「キッズパーク」新設 メインスタンド（バックネット裏席）改良	3億97百万円
2007年度	車いす席改良 トイレ洗浄便座化	1億97百万円
2008年度	フィールドシート設置	2億21百万円
2009年度	1Fコンコース喫煙室の売店化（現 サブウェイ）	1億65百万円
2010年度	トイレ一部洋式化改修（2014年度まで毎年実施）	65百万円
2011年度	スタンド席カップホルダー整備 バルコニーシート改修（現 スカイボックスシート）	1億97百万円
2012年度	野球用人工芝更新 ※2回目 1Fコンコース喫煙室の売店化（現 築地銀だこ）	5億06百万円
2013年度	グッズ☆ジャム拡張	2億80百万円
2014年度	大型ビジョン更新	8億76百万円
2015年度	トイレのハンドドライヤー設置 B2Fトイレ一部洋式化改修	87百万円
2016年度	スタンド席手すり増設 2F女性用トイレ増設	3億06百万円
2017年度	北チケット売場A改修 1階コンコースマルチディスプレイ増設	3億49百万円
2018年度	エスカレーター設置 野球用人工芝更新 ※3回目	7億77百万円
2019年度	2階屋外テラス仮設トイレ設置 トレーニングルーム関連整備	1億43百万円
2020年度	シャトルバスターミナル点字ブロックおよび照明増設 トレーニングルーム関連整備	44百万円
2021年度	トイレ洋式化改修 内野フェンス・ゲート看板LED広告化	2億44百万円
2022年度	アリーナ分割用パーティション購入 スコアボード簡易操作システム構築	42百万円
合計	当社負担で実施した改良工事等の累計金額 （2001年度～2022年度実施分）	61億05百万円

（税抜 百万円未満切り捨て）

<資料>

■業績、利用日数・稼働率の推移

単位：	(百万円) ※百万円未満切り捨て				(日)	(日)	(%)
年度	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	イベント日数	総利用日数	稼働率
2001	2,245	123	357	256	80	177	58.2
2002	2,091	91	119	64	79	226	61.9
2003	2,226	195	239	136	103	221	60.4
2004	2,743	356	420	242	123	241	66.0
2005	2,883	335	402	233	123	267	73.2
2006	3,536	297	370	208	129	265	72.6
2007	3,676	452	541	317	141	266	72.7
2008	3,127	150	227	116	134	265	72.6
2009	3,694	383	458	166	133	261	71.5
2010	2,847	51	103	40	118	244	66.8
2011	3,617	362	413	232	138	279	76.2
2012	3,645	379	432	243	138	268	73.4
2013	3,315	122	160	74	134	271	74.2
2014	3,677	▲492	▲454	▲427	132	262	71.8
2015	3,894	413	447	394	139	285	77.9
2016	4,143	240	287	165	134	262	71.8
2017	3,889	184	229	163	133	271	74.2
2018	3,616	▲484	▲426	▲357	125	234	64.1
2019	3,972	229	410	188	132	256	69.9
2020	1,868	▲501	▲77	▲81	99	164	44.9
2021	3,185	277	390	224	115	253	69.3
2022	2,976	70	193	120	124	220	60.3

※2014年度：大型ビジョンの更新により、開業以来初の赤字となりました。

※2018年度：野球用人工芝等の更新により、開業以来2度目の赤字となりました。

※2020年度：コロナ禍で利用日数・稼働率・来場者数が大幅に減少し、売上高および営業利益は開業以来最低となりました。